

オンライン開催

DX、防災、上下水、固定資産、
道路河川、農林水産、都市計画などのご担当者様

自治体DXの最新ツールで業務効率をUP！

自治体職員向け 衛星データ活用セミナー



令和7年

7月8日(火)

14:00 - 16:00

近年、衛星データは防災や農林水産、インフラ管理など地域の行政課題に対する新たな解決ツールとして注目されています。

しかし、具体的な活用方法がイメージしづらく、自治体職員の中には「宇宙の話で自分には関係ない」と感じる方も多いのが現状です。

そこで、衛星データを活用している自治体やサービスを展開する事業者から、実際の事例やサービスを紹介するセミナーを開催します。ぜひご参加ください！

＼こんな方におすすめ／

- ・固定資産の航空写真が毎年ほしい
- ・土地の現況調査を効率化したい
- ・発災後、ため池の現地確認をしている
- ・市政有林等の管理をしている
- ・作付け面積の現地確認をしている
- ・空き家を一軒一軒回っている
- ・DXツールの情報収集をしたい
- ・定期的に橋梁の保全を確認したい
- ・水道の状況調査をまとめて実施したい
- ・都市開発の変遷を把握したい



業務改善のための 衛星データ活用事例紹介

オンライン
開催

令和7年7月8日(火) 14:00 - 16:00

登壇者プロフィール



松永 祥和 氏

佐賀県 政策部
政策企画監

演題「佐賀県の衛星データ利活用について」



村上 千賀子 氏

株式会社アークエッジ・スペース
リモートセンシング部 事業企画

学生時代は広島大学理学部で植物分子遺伝学を学ぶ。テクノロジー系スタートアップ数社で農業や水産養殖、食品流通の分野での事業戦略立案を経験したのち、現在は小型衛星の製造・運用を行うアークエッジ・スペースにて、国内外の食糧生産や環境分野の事業者に向けて衛星データの有効活用の事業企画・提案業務に従事している。

演題「小型人工衛星が拓くデータ活用の可能性」



阿久津 岳生 氏

株式会社Penetrator
代表取締役CEO

不動産や建築の分野で計8社を起業し、ホールディングス化やM&Aといった企業成長のプロセスを経験する。また、都市計画・経営学・宇宙科学の3領域を大学院にて研究し、実務と学術の融合から社会変革の挑戦を続ける。2020年からJAXA宇宙科学研究所(総研大)に所属し、研究室の仲間と現在の株式会社Penetratorを起業し宇宙ビジネスに参入。2023年にJAXAベンチャーとして認定され、同年、東京大学IPCより資金調達し、スタートアップとして始動する。

演題「衛星×空き家、固定資産、都市計画での活用可能性」



奥村 俊夫 氏

一社)リモート・センシング
技術センター
ソリューション事業部 参事

1997年、財団法人リモート・センシング技術センターに入社。JAXAの衛星データ受信処理等システム、衛星データ解析システムの設計開発に従事した後、農林水産省や海外の農業省などと農業分野における衛星データの利活用業務に従事。現在は、農業分野でのリモートセンシング利用をはじめ、林業、水産、都市計画、防災など幅広い分野で、行政向けソリューションサービス開発に従事し、全国のパートナー企業との新事業創出に取り組んでいる。

演題「衛星×地域企業との様々な活用可能性」



村上 和磨 氏

九州電力株式会社TS統括本部
イノベーションG 副長

2009年に九州電力入社後、発電インフラ保全管理業務に10年間従事。その後、新規事業部門でQPS研究所やJAXA/METIとの衛星データ利用プロジェクトを推進。現在はスタートアップ投資と協業を主軸とした業務に従事

演題「衛星×森林調査での活用可能性」

【個人情報について】

ご提供いただいた個人情報は、事務局(九州経済産業局、九州オープンイノベーションセンター、九州航空宇宙開発推進協議会)及び講師が、本事業(衛星データ公開ビジネスマッチング)の運営においてのみ使用し、その保護について万全を期するとともに、ご本人の同意なしに事務局および講師以外の第三者に開示、提供することはありません。

お申し込みは
こちらから



参加登録

九州航空宇宙開発推進協議会HPより申し込みください

締切：令和7年7月6日(日)

※ご登録いただいたメールアドレス宛てに配信URLを送付します。